

「新・議会改革・運営ビジョン」の策定を目指した課題整理(議会プロフィール6)表(正副委員長会まとめ)

視点	項目 市議会の方向性 〔議会活動・運営 をどうしていく〕	議会の「理想的な姿」 を実現するために、こ れから取り組むべき 課題 【議会プロフィール5】	議会の現在の姿 (課題・解決すべき点) 【議会プロフィール3 的要約】	課題に存在する背景など 【正副委員長案】	実現方策等 【議会プロフィール6】		
					手段・手順・方法 〔何を・どのようにして・どうする〕	達成時期等 〔いつまでに〕	実践していく組 織等
視点2. 政策サイク ル	⑤議員間の討 議	⑤-1 現制度である議案に 対する議員間討議の 周知と、改善点の洗 い出し	・市民からの意見要望につ いて議員間討議ができていな い。(特に委員会において実 例が少ない)	・議員間討議の仕組みはあるが、議員間討議 の効果的な運用が全体化できていないた め、実施した事例が少ない。 ・議案に対する論点や争点を明らかにする意 識はあるが、そのための準備や時間が不足し ている。	○議会日程の見直しによる議案審査の充実 ○議案が提出される前から、市民生活に関 わりが深く課題となりそうな案件の洗い出し ○議員間討議の積極的な傍聴と事例の学習 ○「論点抽出表」の活用による委員会前の準 備体制の確立 ○予算決算準備会における論点整理		常任委員長会
		⑤-2 議員間討議を行うた めの論点を明確にす る仕組み	・議員間討議を積極的に行う べきであるが、議論を深める ための課題認識・課題共有 が不十分	・常任委員会において、論点や争点を明らか にすため、「論点抽出表」の活用が試行的 に始まっている。 ・活用の頻度を高め、議案と向き合う準備を 整えていく必要がある。そのためには、課題 を明らかにし、定着する仕組みの検討が必要。			
視点2. 政策サイク ル	⑥政策立案・ 提言、議案審 査	⑥-1 政策サイクルを回し、 バージョンアップする ための課題整理と対 策	・政策サイクルバージョンアッ プのための委員会代表質問 の検討が必要。 ・常任委員会活動の質的向 上が継続的に図られている か。 ・財政分野などへ幅広く活用 を実施 ・政務調査報告会の一般公 開を実施	・調査研究の必要性、有効性については議 会全体の共通認識。2年間の所管事務調査 については定着しているものの、時々の政策 課題に柔軟に対応し、政策提言等ができる 体制が求められる。 ・市民の意見聴取から政策提言につながった 事例が少ないため、議会独自の視点を取り 入れた政策立案や議案審査、執行の監視等 に結び付ける必要がある。 ・限られた財源の中で、如何に住民の意見や ニーズを政策サイクルにのせていくか。 ・一般質問や質疑などの議員個人の課題提 起を政策サイクルや委員会の活動につなげ ることが課題	○議会報告・意見交換会(広報広聴機能)→ 委員会活動(調査研究・広聴機能)→予算決 算委員会(決算に基づく提案)の連動性の共 有化 ○委員会代表質問の導入 ○市民意見を政策に反映するための委員会 によるタウンミーティングの実施 ○一般質問を含め所管となり得る項目の整 理とそのストック作業 ○反省を次に活かす風土づくり		常任委員長会

「新・議会改革・運営ビジョン」の策定を目指した課題整理(議会プロフィール6)表(正副委員長会まとめ)

視点	項目 市議会の方向性 〔議会活動・運営 をどうしていく〕	議会の「理想的な姿」 を実現するために、こ れから取り組むべき 課題 【議会プロフィール5】	議会の現在の姿 (課題・解決すべき点) 【議会プロフィール3 的要約】	課題に存在する背景など 【正副委員長案】	実現方策等 【議会プロフィール6】		
					手段・手順・方法 〔何を・どのようにして・どうする〕	達成時期等 〔いつまでに〕	実践していく組 織等
視点2. 政策サイク ル	⑥政策立案・ 提言、議案審 査	⑥-2 議案審査などにおい て、会派や委員会で 論点整理する仕組み づくり	・請願、陳情の積極的な活用 のための手順等の確認が必 要 ・議案審査において、会派、 委員会で論点整理する仕組 み	・論点整理を促すシステムづくり(論点整理票 などの活用)が求められる。	○予算決算委員会準備会における論点・争 点の抽出作業の常態化 ○予算決算委員会準備会と会派及び常任委 員会との連動強化 ○予算決算以外の案件に対する論点・争点 の抽出の場づくり ○所管事務調査ガイドラインに基づく振り返り と検証		常任委員長会
		⑥-3 提言に対する回答と 提言後の振り返りと検 証を行うことができる 仕組み	-	-			
	⑦総合計画、 政策評価、予 算・決算の連 動	⑦-1 予算提言を行うため の予算決算委員会の 機能向上	・予算決算委員会の設置によ り、予算提言まで連動する新 たな政策サイクルの基礎が構 築された。 ・政策サイクルに組み込まれ た行政評価を実施中。 ・準備委員会が機能を果たし 切れていない。 ・予算提言に至らない場合が 多く、決算審査を予算審査へ 生かすという「議会の政策サ イクル」が機能しているとは言 い難い。	・予算決算委員会における議案審査等の論 点整理をする場としての準備会の活性化が 求められる。 ・予算、決算審査に当たっての着眼点の整理 と議員間の共有に加え、重要課題に対して は、議会全体で取り組んで体制づくりが必 要。 ・行政評価に対しては、予算決算委員会が全 体のマネジメントを行い政策提言から、予算 反映における追跡等を行うなど、一連の流れ は定着しているが、予算提言に至らない場合 が多く課題の一つ。	○政策サイクルと予算決算準備会の役割を 「見える化」し全議員で共有 ○行政評価のあり方の見直し ○議選監査委員との連携 ○財務に関する能力向上のための専門的知 見の活用 ○行政評価に基づく政策提言内容の反映状 況の追跡 ○改選等で体制が変わっても取組が継続さ れる環境づくり ○現行の政策サイクルに「振り返りと検証」を 組み込む		予算決算委員 会準備会
	⑦-2 提言後のふり振り返りと検 証を十分に行うことが できる仕組み	・提言後のふり振り返りと検証が 不十分	・政策提言を行った後の追跡調査ができてい ない。「言いつばなし」「やりっ放し」にならな いよう、検証活動を確立していく必要がある。				